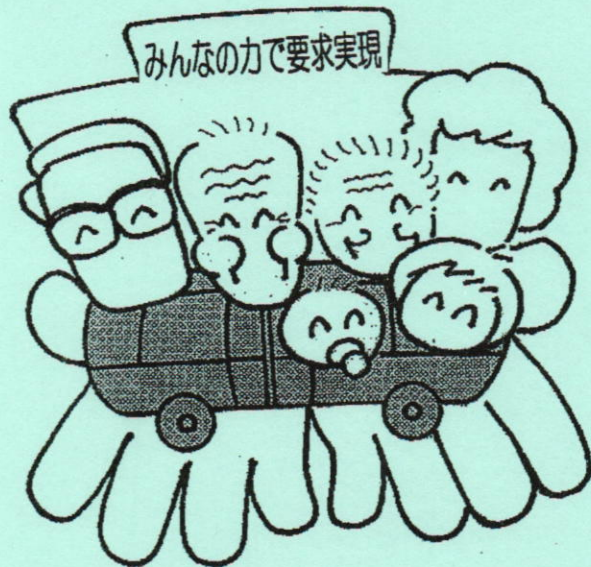


# 愛知地域人権連合第6回大会議案



2011年10月30日  
於 あま市人権ふれあいセンター

## 愛知地域人権連合第6回大会

### 愛知地域人権連合運動方針(案)

#### はじめに

政権交代した民主党政権の2年間、鳩山政権はわずか1年あまりで内閣を投げ出し、次に代わった菅直人首相も、1年あまりで辞任しました。圧倒的な国民の声は「期待を裏切られた」との状況の下で、野田首相の新政権が発足しました。どんな特徴があるのでしょうか。見えてきたのは、消費税の増税など国民に痛みを押し付ける民主党政権。3・11東日本大震災復興財源確保のため、所得税、消費税、住民税、たばこ税など総額11,2兆円の増税案を決定しました。さらに今年度当初予算に比べ、0,6%増の4兆6906億円にのぼる2012年度予算の概算要求を提出しました。東日本大震災の復興財源のためといいながら、国民に増税を押し付ける一方で、無駄の象徴である軍事費を事実上聖域扱いにし、政党助成金の縮小・廃止にも何らふれず、大震災で苦しむ被災者を含む国民にしわ寄せするのでは国民の理解を得られるはずはありません。

第6回大会は、震災復興に問われる政治の責任、地域づくり、住民との協働で安心安全のまちづくり、暮らしに役立つ新しい人権連運動の展望を切り開く方針をつくり上げること、その先頭に立つ役員体制を作り出すことを任務とします。

#### これからの地域人権運動のあり方

##### 1. 解放運動の教訓から学ぶ

部落解放運動から地域人権運動へ発展的転換を図ってから7年が経過しました。それまでの全国部落解放運動連合会のたたかひの教訓は何かを今一度考えてみなければなりません。

第1に、人間の尊厳と平等を求めてたたかひの歴史、つまり人権運動であったこと。

第2に、地域で住民を組織し、民主的陣地を構築する地域運動であったこと。

第3に、暴力と利権、排外主義に反対する正義のたたかひであったこと。

第4に、要求実現のために国、自治体などと粘り強く実現を図る交渉力をもった組織であったこと。

第5に、時代を担いうる主体者の形成に努力した人間形成の組織であったことです。

私たちの運動は、このような貴重な歴史的教訓を財産にもつ組織であることです。

ここに確信をもたないと、組織の目標が一応実現できたと安堵し、いつの間にか組織的終結へつながりかねません。これでは部落解放運動の歴史的教訓が正しく継承されたことになりません。

##### 2. 運動から見た社会構造の激変と住民の課題

県民全体を視野に入れた運動を展開していく上で、私たちが住んでいる日本の地域社会が